

②路面凹凸形状（縦断）の周波数特性

路面凹凸形状（縦断）の周波数特性が海コントレーラの走行で考慮すべき一般的な道路条件を代表したものであることを経路選定の条件の一つとした。

図-2.3.11 ～図-2.3.23 に、走行ルートおよび基本計測区間の縦断方向路面凹凸のパワースペクトル密度（PSD）および ISO に規定される路面性状の評価基準を示す。

走行ルートおよび基本計測区間の PSD 分布形状は、ISO8608 に規定される評価基準に概ね相似な形状となっており、ランク A 「極良」～C 「普通」の範囲で分布している。

また既往の調査結果においても、国内の道路では一般道で PSD の分布形状が ISO の評価基準に相似な形状でかつ「普通」程度以下の凹凸となり、高速道路などでは ISO の評価基準より PSD の分布の傾きが大きい（高周波数成分のパワーが相対的に小さい）傾向にあるものの、概ね ISO の評価基準の「良」程度以下の凹凸であることが示されている。

以上より、選定経路は、海コントレーラの走行を想定した一般的な道路条件を代表しているものとみなせるといえる。

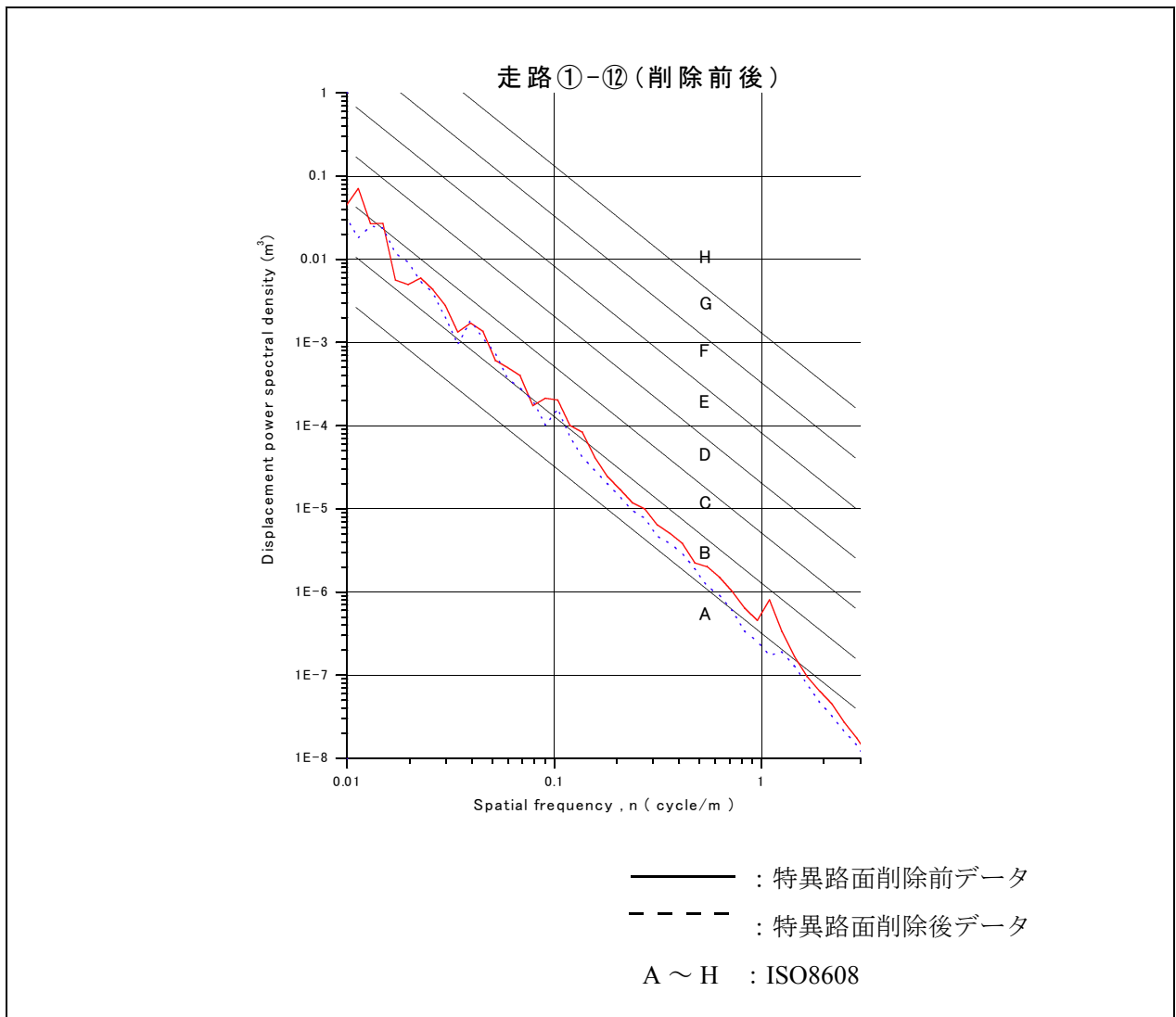


図-2.3.11 路面の周波数特性（PSD、走行経路全体）